

平成 27 年度第 1 回長野市立図書館協議会開催概要

1 日 時 平成 27 年 7 月 22 日(水)午後 2 時～ 4 時

2 場 所 南部図書館 2 階会議室

3 出席者

(1) 委 員 9 名 浅川佐代子委員、安藤裕子委員、内山みゆき委員、風間悦子委員、
中澤惇夫委員、西一夫委員、宮澤真一委員、宮澤千恵子委員、森山環委員
(欠席 小島雅世委員)

(2) 事務局 9 名 教育次長 藤沢孝司
生涯学習課 平林富一郎課長、坂口夏江係長、徳武陽子主事
長野図書館 川島常照館長、戸谷元幸館長補佐
南部図書館 山上由喜人館長、宮沢和雄館長補佐、柳沢克彦係長

4 次 第

(1) 開会(宮沢補佐進行)

(2) 任命書交付

(3) 教育次長あいさつ

(4) 自己紹介(委員・事務局)

(5) 委員長選出・委員長職務代理者指名

(6) 委員長あいさつ

(7) 協議事項

ア 平成 26 年度事業報告について(会議資料：平成 27 年度図書館概要)

イ 平成 27 年度事業計画について(会議資料：平成 27 年度図書館概要)

ウ 長野市立図書館基本計画について

エ その他

(8) その他

5 概要

{あいさつ}

藤沢教育次長：ただいまご紹介にあずかりました教育委員会の藤沢でございます。本日は、新しい委員によります一回目の協議会ということで、私ども職員におきましても、気をひきしめて望ましているところでございます。図書館につきましては、教育と文化の発展のために大変に重要な施設であるということ、また市民のみなさんの生涯学習の場、情報提供の場ということで、皆様方のご要望に応えられる、ご利用いただきやすい図書館運営を日夜めざして努力しているところであります。本市におきましては、長野

と南部の図書館 2 館ございます。また移動図書館車 3 台によりまして市内の 92 箇所を 20 コースにわけて巡回貸出をしております。また公民館 28 館分室という形で位置づけまして、本の貸し出し等をしておりまして、さらに市内 35 箇所の福祉施設等にも配本をし、市民文庫という形で、きめこまかな図書館サービスを心がけているわけでございます。長野図書館につきましては、昨年 5 月から、国立図書館のデジタル資料につきまして、絶版等資料の閲覧、あるいは複写サービスを開始したところでございます。また信毎のデータベースの閲覧あるいは複写サービスを開始するなど、適宜いろいろな図書館サービスに努めてきたところでございます。そんな中で新しい図書館像ということで本市の特色をいかした図書館サービスの実現を目指すため、将来ビジョンを検討し、またそれに沿ったサービスが提供できるように現在長野市立図書館基本計画を策定中でございます。昨年度に、庁内で協議をいたしまして、今年度は外部委員により長野市図書館基本計画策定委員会を設置をいたしまして、現在審議をいただいているところでございます。今年度中には、その計画がまとまってくるという状況になっております。本協議会委員の皆様方には、これから平成 29 年 6 月まで 2 年間の任期でお願いするわけでございますけれども長野市立図書館をより市民の皆様様に親しみやすく、またご利用いただきやすい図書館とするために日ごろのサービス等の面において忌憚のないご意見等をいただきたいと存じますので、活発なご協議をお願いしたいと思います。本日は本当にありがとうございます。

(自己紹介(委員→事務局))

事務局(欠席委員報告・資料確認・会議成立報告・日程説明)

(委員長の選出、職務代理者の指名について)

事務局：図書館条例第 7 条第 1 項で、協議会に委員長を置き、委員の互選とすると規定されております。委員長をお選びいただきたいとおもいますが、いかようにしたらよろしいでしょうか。

委員：委員長ですけれども、信州大学教育学部の西一夫先生に、この会の委員長をやっていただければありがたいと思っています。

事務局：委員長に西委員を選出することにご賛同いただける方は拍手をもってご承認願います。

(承認)

事務局：委員長に職務代理者の指名をお願いいたします。

委員長：職務代理者といたしまして、森山 環さんを指名したいと思います。よろしくお願いいたします。

(委員長あいさつ)

委員長：ただいま委員長に選出いただきました西でございます。一言ご挨拶申し上げます。図書館協議会ということで、私初めてのこの委員会への選出ということでございます。実は一昨年長野県の子ども読書推進計画、それから前の年に長野市の子ども読書推進の策定に関わってまいりました。その意味でそういった所でさまざまな議論があり県での図書館あるいは子ども読書の問題さらには、長野市での子ども読書、図書館の活用ということが、随分議論になっておりますので、そういった場面でおこなわれました議論なども是非いかしながら、この協議会を進めてまいりたいとおもいますので、みなさまにも、さまざまなお立場からのご意見をいたたければと思います。よろしくお願いいたします。

事務局：長野市図書館条例第 8 条によりまして、委員長が会議の議長と定められておりますので、委員長に協議事項の議事進行をお願いいたします。

(協議事項)

議長：規約に基づき委員長が議事をとるということですので、協議事項にしたがって進めてまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。最初に(1)平成 26 年度事業報告につきまして事務局の説明をお願いいたします。

事務局：(会議資料：平成 27 年度図書館概要により、長野市立図書館全体の概要、続いて長野図書館、南部図書館の順に説明)

議長：大きく分けますと、まず最初に、神城断層地震についての被害状況の報告と現状の修復の状況の報告、そして、長野図書館、南部図書館、両館あわせての全体の概要、そして、長野図書館、南部図書館、それぞれのご報告をいただいたかと思えます。まず、被害状況についての報告がありましたけれども、それについて何か、ご質問等があれば承りたいと思いますので、いかがでしょうか。

では、図書館概要に基づきながら、両館あわせての全体概要についてのご説明を長野図書館長のほうからいただきましたが、それについては、いかがでしょうか。

委員：貸し出し利用が減っているというのがとても気になります。本当に細かいデータを作ってもらって、素晴らしいと思いますけれども、児童の利用が減ってます。児童数が減っているということも関係しているのでしょうか。

議長：いかがでしょうか。

事務局：そうですね。その辺までは、まだ分析できていないんですけれども、そういったこともあると思います。

議長：利用状況について、ご意見、ご質問、他にありますでしょうか。

委員：いろいろと説明いただきましたが、4点ほど、お聞きしたいと思います。図書館の目的として、市民の生涯学習とか、行事の充実を図るということで、子供に対しての行事とかはありますが、高齢者に対しての行事というものが、ないと思いました。やはり、今非常に高齢化というものも進んでいて、高齢者の生きがいに関わりを持つということで、何か企画を考えていただければと思います。

もう一点ですが、貸し出しの利用状況という中で、年齢層別内訳が19歳から60歳、60歳以上に分かれています。もう少し細かいデータがあればどうなのかと思っています。

それと、もう一点ですが、外部との交流や情報交換、それとレファレンスの紹介とか、どこと連携をとってやっているのか、そういう点をお聞かせいただければと思います。

それと、もう一点は、広報活動についてですが、図書館がどのような行事をやっているのか一般の人には、把握しにくいと思います。広報活動についてどうなっているのかという点を、お聞かせいただければと思います。

議長：はい、いま、大きく、高齢者向けのイベントについて、それから、二つ目が一般年齢の区分の問題、そして、三点目が、外部との情報交換とか連携について、そして、第四点目が広報活動の問題ということですが、いかがでしょうか、事務局として、ご回答いただければと思います。

事務局：まず、高齢者に関するサービスの関係ですが、今年の協議会でもご指摘をいただきました。確かに、長野図書館の特徴と申しますと、子供たちに対するサービスと視覚障害者に対するサービスが、二つの柱になっておりまして、それ以外の部分では、少し弱くなっているのは、確かでございます。高齢者に対するサービ

スの充実ですが、どのようなサービスができるのか、今年、図書館基本計画を策定しておりますので、委員さんから具体的なお話をお伺いしながら、計画を立てていきたいと思っています。

それと、二点目の利用者に関する詳細なデータということですが、6ページの表の方で、上の表と、真ん中にグラフがありますが、データの的には0歳から6歳まで、7歳から12歳まで、13歳から15歳、16から18、19から22、それから、23から30歳まで、31歳以降は10年ごと、というような形でデータを取っていて、それぞれの男女別にデータを取って、グラフにしたところ、小学校のところは、大人の方も一緒に来たりするので、7歳から12歳までは、それなりに高くなっているのですが、13歳以降、20代くらいまで、中学生、高校生、大学生のあたりが、非常に低い状況になっていて、30歳くらいから、上がってきているという状況でございます。データの的に、こういった点が足りないということがあればまた、その辺データ取れるかどうか、また検討していきたいと考えています。

それから、外部との交流ですが、県内、他の図書館との交流、年に何回か館長会議を開いたり、情報交換したり、職員に対する研修会というものを、長野県の図書館協会で主催して、やっけていただいているので、職員を出して、技量をあげるとともに、他の館の司書と交流をしております。また職場体験とか、インターンシップの受け入れをしているところでございます。

それと、レファレンスですが、基本的には、職員が、蔵書やインターネットを通じて調べるのが中心であります。県立だとか国会図書館に問い合わせをする場合もでございます。地域の詳しい方と横の連携するところまでいっていないというのが、実情でございます。

それから、広報活動ですが、確かに広報活動が弱いかもしれません。ホームページや「広報ながの」に掲載するとか、あるいは、マスコミの方に、情報を提供して記事にさせていただくということで対応をしているところですが、一般の市民の方に知られていないという実態があるのだとすれば、広報活動についても、考えていかなければいけないと思っています。

事務局：一点目の高齢者のイベントですが、南部図書館も同じでございますして高齢者に特化したイベントというのは、まだ、実施しておりませんので、課題と捉えて、今後検討していきたいと思ひます。

議長：よろしいでしょうか。

委員：レファレンスですが、詳細を調べてほしいという要望を出したとき、両方の図書館で、対応できなかった場合には、公立の図書館と連携をとって、調べていただ

けるということでしょうか。高齢者に対しての行事等は、何とか企画して、実現できるような方向へもっていただきたいと思います。それと今、年代別の件がありましたけれども、その年代別についても、みんなの気持ちを知るには、アンケートを、とればいいと思いますが、こういうようなアンケートをとっているような状況はあるのか、お聞かせいただければと思います。

議 長：いかかでしょうか。お願いいたします。

事務局：アンケートの関係ですが、去年の9月に6日間ほど、長野と南部で、来られた方にアンケートをとりました。配布数、両館合わせて1,011件で、回答が820件ほどいただいたところですが、図書館基本計画の策定に関する調査でしたので、委員さんが、言われている高齢者に対するサービスについて、具体的に、聞くという項目はありませんでした。今後細かい設問をすれば、具体的に高齢者に対する事業でどういった要望があるのか、ということがわかってくるとと思いますので、設問の検討をしていきたいと思います。それと昨年、来ない方も含めて、毎年、広報広聴課で実施している「まちづくりアンケート」がありますが、そこでも、図書館サービスに関する設問を入れまして、どの程度、図書館を利用しているのか、利用していない方は、どういった理由で利用していないのか、あるいは、どういった面で改善してもらいたいのか、というような要望とか、そういったことを設問にして実施したところでございます。今年作る図書館基本計画のデータにしたいということで、昨年、利用者と、それと全体の市民の方、アトランダムに選んだ市民の方に、アンケートをしたということでございまして、今後は、委員さんが言われたことも参考にしながら、定期的にアンケートできればいいと思います。

それと高齢者に対するサービスにつきましても、具体的にこういったようなサービスがあればいいのか教えていただければ、ありがたいと思います。

議 長：他に、委員の方から、ご質問、ご意見、ございますでしょうか。図書館の全体等に関わることになるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

委 員：昨年から高齢者に対することが、確かに話題に上がってました。今、お聞きしながら、長野図書館とか南部図書館に近い高齢者は良いんですが、昨年も話をしましたが、高齢者は自分の住んでる近くは身軽に移動できます。うちの地区で、公民館で植物ウォッチングとあって、植物に詳しい方が来て、講義をしたりしてくださいました。私も希望して出たいと思うのは、いろんな本について詳しい方が、こういうの皆さん良いですよ、これについてはこんな内容ですよとか、皆さんが

本を読みたくなるようなアドバイスに通じるようなイベントがあると、身近なところの、公民館でやっている図書室のところに、お話聞いたうえで借りるとか、ごく身近になるなと思いますので、そんな要望をしたら、皆さん身軽に来れると思います。

議長：いかがでしょうか。

事務局：先ほど、アンケートのところでも申し上げましたが、行かない理由、図書館利用しない理由としては、行くのに遠いというのが大きなパーセンテージを占めておりまして、そういった意味では、身近な公民館にも分室がありますけれども、分室を活用できれば、本館にわざわざ来なくても、本に接することも出来るのかなと思います。大変貴重なアドバイスありがとうございます。公民館の主催事業に司書を派遣するとかは、地元の皆さんのグループから要望あった場合に、出前講座みたいな形で司書を派遣したりとか、いろいろやり方はあると思いますので、分室の活用ということを、検討したいと思います。

議長：あとは、いかがでしょうか。

委員：このデータを見させていただいて、子供の利用が少ないのは、ゲームとか、メールとか、そういうほうが集中しているような時代ということもあるかもしれません。私も、毎日、新聞を読むことと体を動かして外へ出ることが多く、もう少し、時間を整備して、しっかり本を読む時間を作りたいという思いが十分ありますが、ある本をひとつのテーマにして、このことで読んだ感想をみんなで述べ合うようなこともいいと今感じました。

議長：ご意見として、受け賜わっておくというような形で、よろしいでしょうか。

はい、あといかがでしょうか。それでは長野図書館の事業概要のほうについて、ご意見、ご質問等あれば、承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

私からひとつだけ、実現するかどうか、駐車場がとにかく長野図書館に無いというのが、近くに住むものとして、重々承知していて、週末の図書館前の渋滞を、私も見ていますが、例えば、長野市との連携協定の中で、週末、教育学部の駐車場を一部開放してもらうことを、教育委員会として、少し話題に出していただくと、あそこには、約100台入る駐車場ありますので、今回、善光寺さんのご開帳で、週末だけ、駐車場開放しています。有料で開放しましたけれども、そういったような連携協定の中で、週末、図書館を少しでも、活用していただけるような方策を考えていただければ、大学としても、どんな風な連携があるのかを、

模索してるはずですので、その辺り一度、投げただけだと、ありがたいと感じております。

議 長：ほかの委員、いかがでしょうか。

では、31ページからの南部図書館の概要についての報告でご意見、ご質問あれば、お伺いしたいと思います。特に、質問等がございませんので、次に進めて参りたいと思います。

議 長：協議事項の2でございます。

平成27年度の事業計画について事務局から説明をお願い申し上げます。

事務局：(会議資料：平成27年度図書館概要により、長野図書館、南部図書館の順に平成27年度事業計画を説明)

議 長：それぞれの館の説明がございました。それぞれの館につきまして、ご意見、ご質問を頂戴したいと思います。まず、長野図書館のほうの27年度の事業計画について、ご質問等がございます方、挙手をお願いします。

委 員：「おひぎで絵本」というとても素晴らしい事業をされてますが、そのときに図書館をPR出来たらいいと思います。お子さんを、本好きにするのは、お母さん方なので、まず小さいお子さんをお持ちになったときに、ぜひお母さんに図書館って、こんなところで、こんな良い物ありますよって、南部図書館のほうは、おはなし会にたくさんの親子連れが来ていただいています。素晴らしい活動されていると思いますが、そういう機会も、「おひぎで絵本」ではほんとに、高い率で、親子さん、お母さんが参加されているという情報は聞いてますので、そんな時に図書館の担当者が行くのは難しいと思いますが、PRの冊子とか、チラシみたいなものもあればいいと考えました。特に、こういうおはなし会をやってますよとか、いいのかなと思います。

事務局：「おひぎで絵本」事業の直接、担当をしております。実際、会場でも絵本をお渡しする封筒の中に、長野図書館、南部図書館のパンフレット、図書館カレンダー、移動図書館の年度の半年分ですとか、日程のほうも一緒に入れて、絵本の紹介も入れています。実際読み聞かせのボランティアの方々も、図書館にはこんな本あるんですよと、案内してくれる方は、結構たくさんいらっしゃるんで、それで、興味を持ってくださってると思いますので、今後も引き続き、続けていくとともに、司書の方とか、図書館との連携もさらに深めていきたいと思っております。

委員：はい。是非、よろしくお願いします。もうひとつ、子ども読書の日はどうなっていますか。

事務局：今年度は11月の下旬に、まだ、計画中ですが、読みがたりの講師の先生をお招きして、読みがたりをする側の人に対して、本の選び方だとか、絵本の読み聞かせの楽しさだとかを、実演を踏まえて、というような講演会のようなものを、今、企画中です。また、お知らせしたいと思います。

議長：よろしいですか。

委員：是非、委員のほうにも、案内が来て、こんな講義をしていると知らせていただけたらと思いました。

事務局：わかりました。また、ご案内させたいと思います。よろしくお願いします。

議長：他にいかがでしょうか。長野図書館にしまして、なければ、南部図書館のほうの27年度の事業計画についてのご意見、ご質問、受け賜りたいと思いますがいかがでございましょうか。無ければ、議事を進めたいと思います。
協議事項の第3号になります。長野市立図書館基本計画について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：(会議資料：長野市立図書館基本計画についてを説明)

議長：ただいま、基本計画策定について説明がございました。委員の方からの、ご意見、ご質問を頂戴したいと思います。

委員：長野市基本計画ですが、この基本計画をちょっと横においても、長野の南部図書館とか、現行の図書館に関しても当てはまることですが、図書館の利用を多くするためには、学校と、連携を深めていただければ、いいと思います。予断ですが、小学校で認知症の講座等もやっています。小学生の人が今、認知症というものを知れば、その子供たちが大きくなった時に、認知症というものが理解されて、それが社会全体で、よくなって行く、そういう方向のために今から小学生に認知症の講座つてのが開かれている状況です。いずれにしても、子供たちが将来大きく

なった時に、図書館を利用しますので、今の子どもたちと一緒に、出来る限り学校と連携をとっていけば図書館運営が、順調になると思います。そういうことも踏まえて、長野市の計画の中に入れていただければ、いいと思います。

議長：ご意見として、受け賜るということによろしいでしょうか。他の委員からいかがでしょうか。なければ、協議事項、最後、4 その他、でございますが、委員の皆様から、この機会に図書館に関するご意見、ご要望等があれば、ご発言をいただければと思います。いかがでございますでしょうか。
今日まだ、ご発言がない方、一言ずつ、せっかくですので、ご発言いただければと思います。

委員：この一般公募があるときに、小論文を出させていただいたんですけれども、要望といった形で、よろしいんでしょうか。私は、店舗建築、設計・施工の会社に在籍しまして、長野駅の中も、やらせていただいたんですが、南部に関して言わせていただくと、入ってきたときに、ものすごい、本の匂いが、いやな匂いがしたりするんですね。こういった、これからの建物とか、児童のところも少ないですし、何か考えてらっしゃいますか。結構、2階が広い割には、あの中の、1階の蔵書の位置とか、そういうのがちょっとと思うんですけれども。

事務局：南部図書館は、昭和54年に開館しまして、かなりの年数がたちます。開館当時は、余裕もあったと思うんですけれども、今、本も増えてきまして、スペースが非常に狭いと、それから、経年による老朽化、先ほど言った老朽化と狭隘化ということで、この建物をどうして行くのかということについて、耐震化にしていくのか、それとも、改築にしていくのかということ、現在、庁内で検討中でございます。

議長：今日、ご発言ない方、一言ずつ。

委員：先ほど、高齢者向けの企画というものがあまして、子供向けの企画は、結構、あって、確かに、子供向けの企画と障害者の2本立てで行くということは、理解しておりますし、立派なことだと思います。ですが、高齢者社会になって参りますと、そのような要望も、毎年出てくるのかなという思いもありまして、先ほど、30ページのところに、長野市の市立図書館の事業計画があり、50ページのところに、南部図書館の事業計画があって、見させていただいておりますと、その中の、子供の企画の中で、ひとつでもいいので、高齢者を交えた企画、両方の世代と一緒に、学べるような企画になるものが無いだろうか、私は、見ただけでは、

わからないんですが、この人形劇を、大型紙芝居、パネルシアターなど、一見、高齢者の方も喜びそうかなと思いますので、試しに、両方の世代が、一緒に学びあうというような企画も、どうなのかなと、感じました。

議長：ありがとうございました。まあ、ぜひ、少しでも実現できる方向で工夫していただければと思います。あといかがでしょうか。

委員：今回、初めて参加させていただいて、両図書館で、大変地域に向けいろんな活動に取り組んでおられると、改めて理解することが出来ました。小中学校って言うか、そういう現場で、各司書の方々といろんな話をする中で、やはり、一番大きいのが、新しい本を購入するのが難しい状況にあります。年間の購入予算も限られていますので、子供たちに見合ったものを、そろえていくというのが、なかなか難しい現状であります。信州新町のことを考えると、小学校、中学校、公民館に分室の図書館があります。学校も含めて、お互いに、情報を交換しながら、その中で、子供たちが、図書館以外の公立の図書館に足を運んでいくという、そういう、姿を作っていかなければいけないという思いがしています。今お話聞いていると、高齢者との関係が出てきました。非常に、大事かと思っております。先ほど、委員のほうからもありましたが、やはり、子供たちと高齢者が、同じ場所で、同じ空間で、本というか、交流を深めていけるというか、何かそういう機会がどこかであれば、改めて作るというのは難しいので、今の中で、参加対象者を増やしていくというか、そんな方向も、検討されるといいのかな、そんな思いしております。いずれにしましても、非常に、多くの方々が利用されているなことが、改めて、今回わからせていただきました。ありがとうございました。

議長：ぜひ、一言、お願いいたします。

委員：私も、昨年まで、学校の図書館のほうに、勤めさせていただいてたんですけども、そんな関係もあって、一番に思っていたことは、出前講座で先生が来てくれて、子供たちに授業をするということもあるんですけども、図書館の司書の方が来て、本についてだとか、そういう出前講座を聞いたことが無かったもので、是非そういう企画を、出前講座の中に何か入れておいてもらってあれば、どこかの学校では、そういうことを必要としている学校も、あるかと思えます。年に一回でも、もし、6年間子供たちがいる中の、1回でも、2回でも、図書館の司書の方が来て、授業していただくというのは、とても、良い体験だと思うので、そんなこととかもあつたら、いいなと思いました。今日はありがとうございました。

議長：ありがとうございます。皆さんから、一言ずつ、発言していただいて、予定していた時間も迫っています。今お話を伺っていて、二つ、考えることがございました。確かに、幼い子供、乳幼児から、就学前、あるいは、小学校ぐらいまでの、子供たちの読書量というのはとても多くて、利用率が高いというのは、数字で出ていますが、中高になると下がるのは、図書館協議会の読書量でも冊数がかくんと落ちているので、部活動であるとか、様々な要因が出てきていますが、子供たちがいかに本に接するのかなと、先ほどの話で、祖父母と連携しながら本に接していくということも良い事で、それが出来るのは、地域の図書館とか、分館のかな、というような気がします。そうすると、どんなこと、考えればいいのか、敬老の日前後で、長野の民話の読み聞かせを聴く会ですとかね、地元にある、素材を生かしながら、そういう世代を、つないでいくような、企画が出来ると、次につながるし、長野には豊富に民話がありますので、そういうもの、読み聞かせたりするような場面があってもいいのかな、というのが考えたことです。

それからもうひとつ、高齢者の方たち向けに、是非企画をとったようなお話が出ていたときに、テーマ性があるんだなという、という気がいたします。例えば、テレビの歴史ドラマのテーマに合わせて、その関連の文学作品を取り上げるとか、歴史関係の本を取り上げるような、機会なんかを作っていくと、テレビと自分が歴史や文学と触れ合うというようなテーマ性で設定していただきますと、自分も普段テレビで見ている、実はこうだったのか、本で読んでみると実はこんなに違う、あるいは、この作家が書くと、こういう風になるんだなという、こういう読書のひとつの導入として、意外とテレビ、図書館と縁遠いところにあるはずなんですけれども、実はそんなのうまく使ってみると、活用の仕方っていろいろあるんだと思います。もうひとつ考えなければいけないのは、図書館というのは、読書をする場所であるとともに、たぶん、学習の面、調べ物をしたり、中高生がいろんな形で、夏休み、ここ使って、開放していただいているという、南部図書館からの報告もあったかと思うんですけれども、学習の場として、地域で活用するのめどうなのかなというのも、今日、お話を伺っていたり、データを見て、感じたところではあります。長野市として、4. 1冊という、貸し出し冊数の減少をどうやって食い止めるのか、というのも、しっかり分析して、考えていただくことなんだろうなと思って、両館のお話を伺っておりました。少し長くなりましたけれども、様々な、建設的なご意見を頂戴したと思います。各委員からの声を真摯に受け止めて対応していただきたいというふうに思います。それでは、これで、協議事項をすべて終了しますので、進行を、事務局のほうに、お返ししたいと思います。

事務局：ご熱心に、ご協議をいただきまして、ありがとうございます。皆様からいただ

きました、ご意見、ご要望を、今後の事業運営に反映してまいりたいと思います。
次回は市立長野図書館を会場に2月ころを予定しておりますので、お含みおき願
いますよう、お願いいたします。これをもちまして、平成27年度第一回長野市
立図書館協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。